

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	社会医療法人財団 慈泉会					
代表者名	氏名	相澤 孝夫	役職名	理事長		
主たる事務所の所在地	長野県松本市本庄2丁目5-1					
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉				
	中分類	83 医療業				
主たる事業の概要	慈泉会は長野県の松本市に位置し、相澤病院・相澤東病院・相澤健康センター・地域在宅医療支援センター・医学研修センター・サービス付高齢者住宅「結」本庄、「結」つかまを運営し、地域に医療・介護を提供しております。 その中の中心である相澤病院は、24時間365日患者さんの受入を断らない救命救急センターを有すると共に高度先進医療を行う為、癌治療装置である「陽子線治療装置」を導入し地域の癌診療の向上にも寄与しております。					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	4,454	4,320	4,517	4,587	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	8,313	8,063	8,423	8,552	
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	0		0	0	
自動車の台数	台	156		161	163	
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	168				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2021	年度					

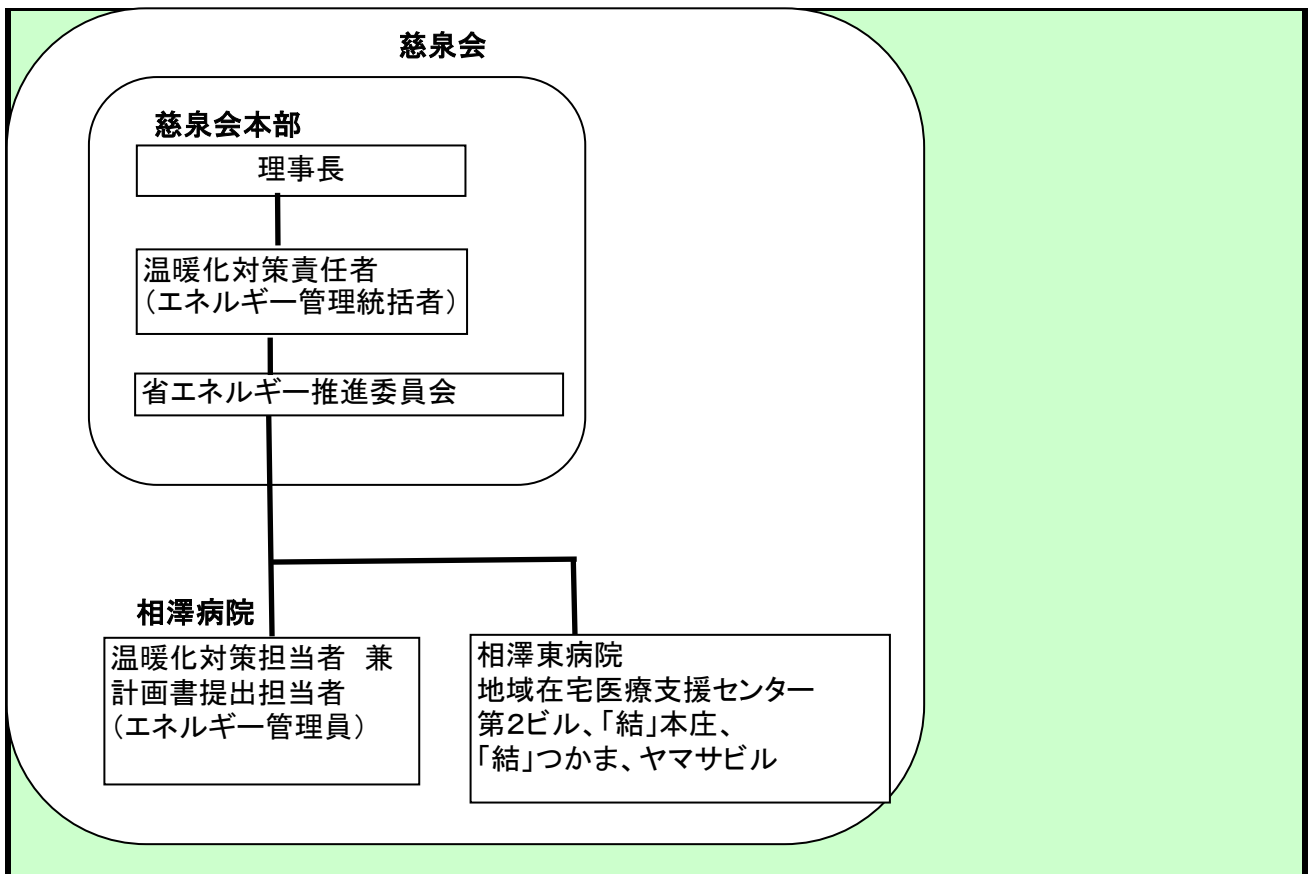
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	閲覧要請（事前連絡要）があった場合、審査の上後日開示する。 平日9時～12時 保管部署：総務課 電話番号 0263-33-8600
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

慈泉会全体の排出原単位 年間1%遡源を目標とした設備管理を行い、省エネルギー活動を効果的に推進できるように運営する。  
2020年からの基本方針として、空調機の更新に於いて、高効率機器を採用すること、相澤病院以外の事業所に於いて、照明設備を蛍光灯からLEDへ取り替える。  
LED照明への取替により二酸化炭素を年間50.5t-CO2/年削減し、又、高効率空調機への機器更新により3年間で二酸化炭素排出原単位3%削減を目標とします。  
又、「製産数量又は、延べ床面積その他のエネルギー使用量と密接な関係を持つ値」については、一定数である延べ床面積を基準としています。

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネルギー推進委員会 (3ヶ月に1回開催)  
施設設備・医療機器品質会議 (毎月2回開催)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8,313	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	52.90	単位	千m <sup>2</sup>
2019年度	調整後排出量	8,313	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位	157.15	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
目標年度	目標排出量	8,063	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位	152.44	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	<p>排出原単位を対前年度比、年平均1%の削減を目標にする。            実施事項として、設備機器を高効率機器を選定し更新することによりエネルギー消費量の削減を図る。</p>						
第一年度	排出量	8,423	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	53.15	単位	千m <sup>2</sup>
	削減率	-1.33	%	原単位	158.48	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
2020年度	調整後排出量	8,423	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	-0.85	%	
	削減率	-1.33	%				
排出量等の増減理由	<p>外的要因として、松本市の平均気温が8月で1℃高く、12月～2月は、2℃低かった。分析をしたところ、ガス（GHP）のエネルギー使用量が増えており空調負荷が増えたことが原因と推測される。なお、電気、電気（EHP）のエネルギー使用量は単独で計測できていないが、ガスの使用量増加と同様に空調負荷の増加に伴い電気使用量も増えたと推測される。            この2項目が、二酸化炭素排出量の削減が出来なかった原因となります。</p>						
第二年度	排出量	8,552	t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積	55.48	単位	千m <sup>2</sup>
	削減率	-2.88	%	原単位	154.15	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
2021年度	調整後排出量	8,552	t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率	1.90	%	
	削減率	-2.88	%				
排出量等の増減理由	<p>・病院運営状況の中で、新入院患者数が昨年比711人 6.6%増となり、エネルギー増加の原因となっています。            ・中間期（10月）の松本の平均気温が昨年比1.9℃高い事より、冷房負荷に対応した空調機使用が増えました。            上記のことが二酸化炭素排出量の削減が出来なかった理由です。</p>						
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>	延べ床面積		単位	
	削減率		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	168	t-CO <sub>2</sub>			単位	
2019 年度				基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2020 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2021 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位	
				原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施 年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	330299	E RのGHPを高効率EHPに更新する。	2020	12.1	2020	12.1
2	エネ起	330299	栄養科のGHPを高効率EHPに更新する。	2020	9.6	2020	9.6
3	エネ起	330299	3 B病棟のGHPを高効率EHPに更新する。	2020	3	2020	3
4	エネ起	330299	A棟冷温水器 2台を高効率冷温水機に更新する。	2020	34.4	2020	34.4
5	エネ起	330299	S棟冷温水器 1台を機構効率冷温水機に更新する。	2021	6.1	2021	6.1
6	エネ起	330299	B棟冷温水器 1台を高効率冷温水機に更新する。	2021	144.3	2021	144.3
7	エネ起	330299	相澤病院以外の事業体に於いて蛍光灯からLED照明に取り替える。	2021~ 2022	50.5		
8	エネ起	330299	B棟冷温水器 1台を高効率冷温水機に更新する。	2022	144.3		
9	エネ起	329999	A棟蒸気ボイラー 2台を高効率機器に更新する。	2022	10.3		
10	エネ起	330299	集中ケア冷温水器 2台を高効率機器に更新する。	2021	8	2021	8

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	Kw	10	0	10	10	

様式1号  
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,277	1	7,360	1	7,380		
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0		
1,500k1未満	14	1,036	15	1,063	16	1,172		
合計	15	8,313	16	8,423	17	8,552		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	
CH <sub>4</sub>	0	0	0	
N <sub>2</sub> O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF <sub>6</sub>	0	0	0	
NF <sub>3</sub>	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	1	1	1	
その他 (ハイブリッド等)	5	3	4	
合計	6	4	5	0
自動車総数	156	161	163	
次世代車導入割合	3.8	2.5	3.1	

様式1号  
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	通勤距離2km以内の職員は自家用車通勤を禁止している。又、自社敷地内に路線バスの停留所を設置している。
自転車の利用促進	看護師寮を2km以内に設置して職員の約28%は徒歩及び自転車通勤である。従業員用の駐輪場について、2ヶ所整備している。
来客者の交通対策	コミュニティバスを運行している。(病院前停留所を設置している)又、来院者用の駐輪場について、3ヶ所整備している。
物流の合理化	納品時間指定を行い、外来時間と重ならないようにすることにより、車両待ちの時間の短縮をしている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	J-VER300 t-CO2の購入により、森林の健全化に寄与している。		H24

1.5 自由記載欄

<p>・平成24年7月5日に長野県小海県有林J-VERプロジェクトに於いて、300 t-CO2の購入を行い、県有林の森林健全化に寄与している。</p>
---